



「伝えるためのメディア教育プログラム開発」 ～大型映像メディアによる映像教育プログラム～

児童生徒の総合的な「学力の向上」

埼玉県立総合教育センター 情報教育推進担当
Tel: 048-556-3444
Fax: 048-556-3396



目標

ドームや大型映像、体験型の映像メディアを活用した、映像教育プログラムを開発する。

Key Word

- 映像メディア
- 情報伝達
- コミュニケーション
- グローバルネットワーク

体制

- ・総合教育センター
- ・芸術総合高校
- ・(株)ミュージアムメディアラボ
- 慶應大学 NPO 他



展望

映像メディアで「情報を伝える」や「コミュニケーションデザイン」について学ぶ機会を提供することは、今後、国際社会、異文化、異世代の交流を体験したりするときに、外部環境における自らの立ち位置想定するときに生かしたり、または基盤となる思考体験になると考えられる。

背景

現代社会の課題を考える時、地球規模で理解することが重要になっている。従来の映像メディアに比べ、スケールや体験的な伝達メディアが有効であり、地球環境時代の今、その伝え方、優位性のあるメディア特性を学ぶ機会としてタイムリーである。

研究

芸術総合高校の映像芸術部をメインに、大型映像分野、没入型等の高臨場感メディアの活用における効果を検証する。

講義ほかスクリーン作成、試写を通して特徴や優位性を学び、新たな活用アイデアの発見や、表現活動および情報伝達に生かす。(教育手法開発の視点)

- 取り扱う「高臨場感」メディア
 - ・大画面(平面)
 - ・ドーム
 - ・球体・多面体
 - ・HMD(Head Mounted Display)
- 活動
 - ・講義 テーマ、演出、効果 何を伝えるか
 - ・撮影と試写 レンズ効果、伝えるデザイン
 - ・スクリーン作成 ドーム、球体
 - 簡易な機材での作成



Schedule

4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月

● 依頼及び第1回
調査研究協力委員会

● 第2回
調査研究協力委員会

● 第3回
調査研究協力委員会

活 「球体スクリーンによるイベント」
芸術総合高校

活 「簡易ドームシアター投影イベント」
芸術総合高校

● 報告書まとめ

Activity



- ・講義
- ・機材
- ・撮影
- ・試写

プレ活動の様子

